

いのちを守る福祉・  
防災都市東京へ!  
都政に憲法を!

# 都民がつくる革新都政

2016年3月15日  
発行 = 革新都政をつくる会  
発行人・中山 伸  
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10  
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031  
ホームページ: http://kakushintosei.org/  
E-mail: info@kakushintosei.org  
(1部25円、送料は別途)

## 第1回定例都議会2016年度東京都予算案審議

## 安倍政権の暴走政治から

# 都民のくらしを守る都政へ



住宅・雇用・福祉施策の充実などをシュプレヒコールで訴える開会日行動参加者=2月17日、都庁前

今年の最初の議会となる定例都議会が2月17日開催されました。(3月25日最終日)この議会は、「予算案」とも呼ばれている「2016年度東京都予算案」(一般会計1兆8706億円)を審議・決定する重要な都知事が今後の1年間の都政運営の基本を示す「施政方針演説」をおこなう、都民生活と都政にとって重要な議会となります。

### 都議会開会日行動

### 都民が主人公の都政への転換を

2016年の東京都議会第1回定例会の開会を迎え、2月17日、開会日行動・宣伝が行われました。

党の白石たみお都議が挨拶。「格差・貧困は正の経済的支援を抜本的に拡充し、国の悪政の防壁となる都政が必要」と述べ、都営住宅の新規建設や定時制高校廃止計画ストップなどで力を尽くすと語りました。

でも、憲法9条擁護、戦争をする国づくりを許さないという意志の表明はなく、オスプレイCV22の米軍横田基地配備に反対する姿勢も示されませんでした。議会は地方自治の「車の両輪」といわれています。今日の都議会に課せられた第一の事は、切実な都民要求の実現と暴走安倍政権追従の都政の転換ではないでしょうか。

12時15分からは都民要求全都連絡会、東京社会保険推進協議会、東京地評の3団体が主催する都庁前行動をおこない、約250人が参加、「戦争法」廃止、「オスプレイはいらない」、「認可保育園増設、保育士の処遇改善」、「定時制高校4校の廃止撤回」、「医療費窓口負担軽減への補てんを」、「くらし、福祉、平和を守れ」などの切実な都民要求の実現を求めました。都議会からは、日本共産

### 「人材養成」より都民の声に 応える教育予算を

東京都教職員組合執行副委員長・大山 圭湖



2016年度の東京都の教育予算は、「体力の向上」を計上、教育費の無償化やティップスクール等を指定するとして17億7100万円、「オリンピック・パラリンピック教育」のために15億8500万円と、オリピック・パラリンピック 高校の施設設備予算の中に、立川地区チャレンジスに向けて授業を活用するために、学習ソフト・リクル(仮称)建設の基本

### 都の豊潤な予算を 切実な国保負担軽減に

東京商工団体連合会副会長・長谷川 清



首都・東京の中小零細業 滞納による差押えは深刻で『生業でも食えない』政治の有様を告発しています。『アベノミクスを評価し、住民税や国保料の滞納による差押えは深刻で『生業でも食えない』政治の有様を告発しています。『アベノミクスを評価し、住民税や国保料の滞納による差押えは深刻で『生業でも食えない』政治の有様を告発しています。『アベノミクスを評価し、住民税や国保料の滞納による差押えは深刻で『生業でも食えない』政治の有様を告発しています。』

東日本大震災5年メモリアル集会 『災害に強いまちづくり』をめざして  
日時 4月9日(土) 13:00~16:30  
会場 文京区民センター3A(都営三田線・大井町線「春日駅」A2出口) 徒歩2分  
参加費 500円  
内容 ▶映像で見る被災地、その後 ▶首都直下地震最新情報 ▶防災への取組リレー紹介 ▶災害被災者と災害対策改善を求める東京連絡会(東京対連) 防災問題を考える首都圏懇談会

計画が含まれています。チャレンジスクールとは、不登校を経験した生徒が新たにチャレンジする単位制の高校です。東京都はチャレンジスクールの夜間枠を広げて、4校の夜間定時制を廃課程にするとしています。夜間定時制には、夜間定時制の役割は担えません。夜間定時制には、仕事をしながら学んでいる生徒や外国籍の生徒、都立高校にしか通えない生徒など、さまざまな生徒が通っています。こうした生徒を切り捨てることは許せないと、2万筆を超える署名が集まり、反対の声が高まっています。

### \* 青い空 \*

「戦争法の廃止を求める署名」をお願ひして駅頭に立つて。戦争法って法律なんかない! (知ってます! あべ内閣が乱暴にも国際平和支援法とともに9本の法律の改定、付則で10本の法律の改定をまとめて成立させた。平和安全の名で武力行使のためにタカをはずしたまさに戦争法です) カッコの中はその時私が言いたかったこと▼地域で1軒ずつ訪問もしている。インターホン越しに「署名? うちの中立だから…」(中立って何? いのちの問題に中立ってないでしょ)でも、後日そのお宅から妻さん一人分の署名がポストに入っていた▼言葉を濁しながらまわりがと断る方も。署名を集めたから取りに来て、の連絡でうかがうと水泳仲間頼んだと8筆。論争をするのではない。ちがう考えの方にどう話したらこの戦後最悪の事態を伝えられるのだろうか。政治をあきらめるのではなく、希望を語れるのだろうか▼2月19日、5つの野党が「安保法制の廃止、集団的自衛権容認の閣議決定撤回を共通の目標とし、国政選挙での選挙協力をすすめる」ことで合意した。署名運動を含む大きな国民の世論が各党の背中を押し、たことはまちがいない。夏の参議院選挙でひとりひとりの国民の重大な選択が問われている。(の)

